

令和6年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

日 本 文 学 専 攻
外 国 語 科 目 試 験 問 題

日本語【創作・批評コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

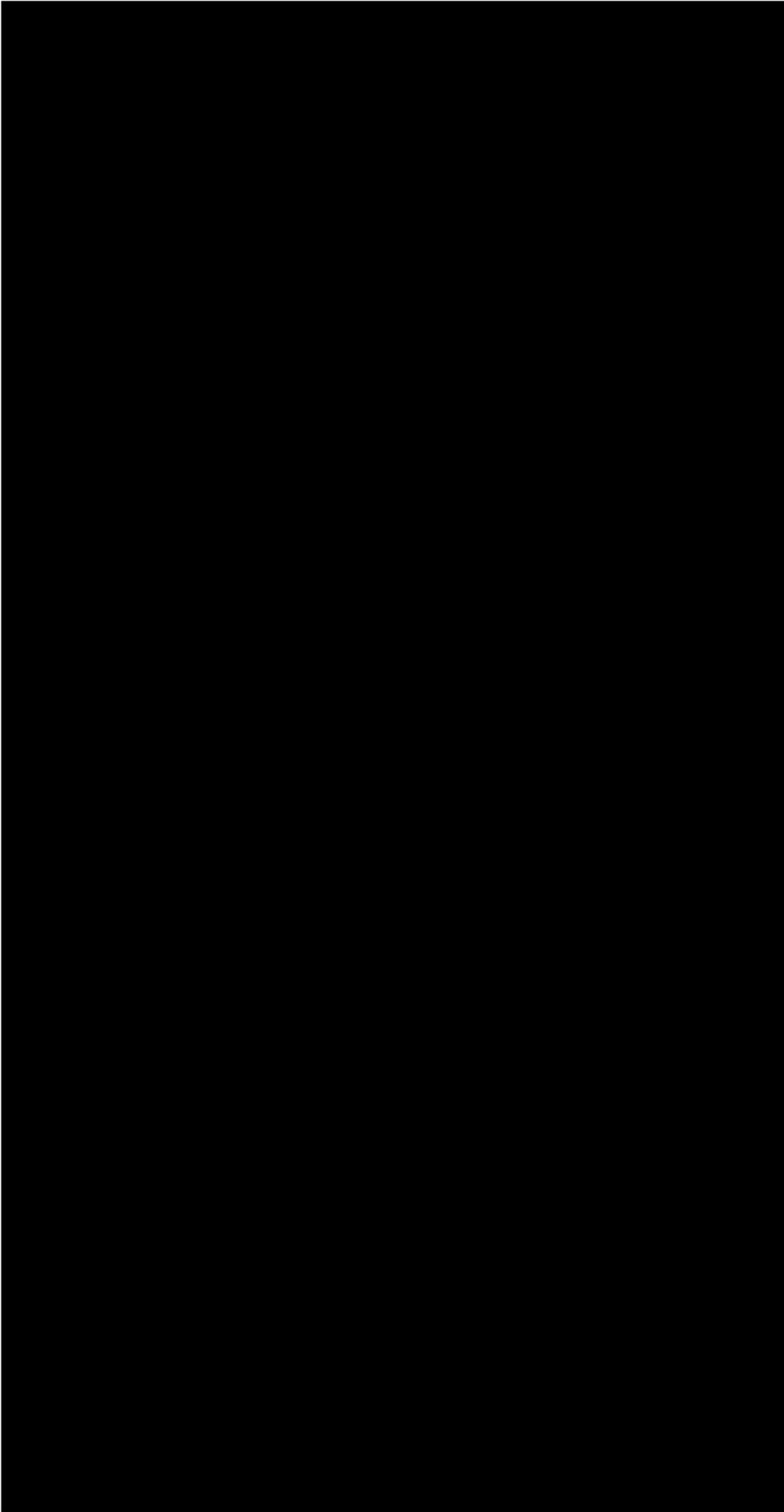
- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

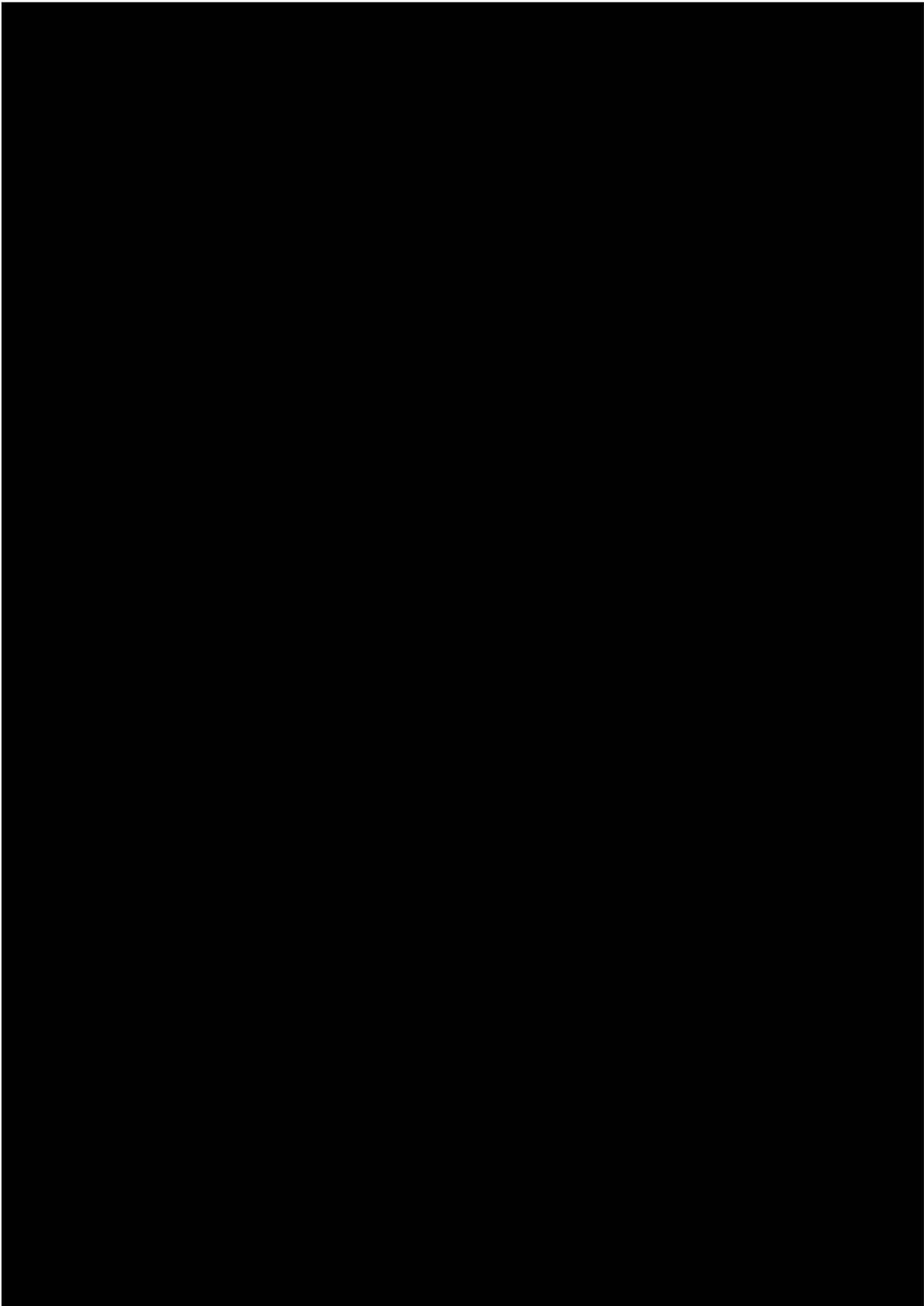
令和6年2月17日実施

令和6年度 近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験

日本文学専攻 外国語科目試験問題【日本語】

次の文章を読み、後の【問題1】～【問題3】に日本語で答えなさい。





(金水敏「『キャラクター』と『人格』について」による。ただし、本文の一部と見出しを省略した)

【問題1】 傍線部①「インディビジュアル」とは何か。本文の内容に沿って説明しなさい。(80字程度)

【問題2】 傍線部②はどのようなことか。本文の内容に沿って説明しなさい。(80字程度)

【問題3】 傍線部③について。「クラス1」「クラス2」「クラス3」のインディビジュアルの違いを、「《人格》をどの程度強く感じさせるかという強度」の観点から説明しなさい。(150字程度)

解答例

【問題1】 さまざまな属性をつなぎ合わせる役割を担う「魂」にあたる《人格》と、人間の属性として記述できるものすべてを指す概念である《キャラクター》とが一体となった状態の人物像。(82字)

【問題2】 インディビジュアルにおける《人格》を世界に唯一無二の存在だと感じるのは、作品を読んでいる“わたし”が作品の登場人物に対して行う自己同一化が根拠になっているということ(82字)

【問題3】 クラス1のインディビジュアルは読者や視聴者が“わたし”性を仮託する度合いが最も強く《人格》の強度が最も高い。反対に、クラス3のインディビジュアルは三つのクラスの中で最も“わたし”性を仮託しにくい弱い《人格》を持つ。クラス2のインディビジュアルはクラス1とクラス3の間の強度の《人格》を持っている。(148字)

出題意図

【問題1】 本文の論旨の理解と、要点をまとめる日本語能力を問う。具体的には、本文の鍵概念である「インディビジュアル」について、本文の記述に沿って理解し、本文の表現を用いながら説明できるかを問う。

【問題2】 本文の論旨の理解と、要点をまとめる日本語能力を問う。具体的には、傍線部分の日本語の言い回し（例えば「今の『わたし』を仮託する」）を、本文の論旨に沿って理解できているかを問う。

【問題3】 本文の論旨の理解と、要点をまとめる日本語能力を問う。具体的には、本文の後半の内容を論旨に沿って理解し、要点を押さえた短い日本語の文章でまとめられるかを問う。